

笠松みなと公園にあずまや完成

川の駅 シンポジウム開催

笠松みなと公園にこのほど「あずまや」が完成しました。

あずまやは木造平屋120㎡、工事費約1,890万円で、昔の笠松湊を連想させる趣のある建物です。内部はベンチが置かれ休憩ができ、管理事務所があります。

3月29日、あずまやを会場に、川の駅を拠点とした流域連携を目指す白川町・美濃加茂市・各務原市・笠松町の4市町で構成する木曽川流域川の駅推進連絡会主催で、川の駅シンポジウムが開催されました。

はじめに、基調講演を田中栄治NPO法人地域交流センター代表理事がありました。続いて笠松小学校児童による琴の演奏があり、約200人の聴衆は琴の美しい音色に聴き入っていました。

シンポジウムでは、阿奈正子本庄まちの駅ネットワーク代表を話題提供者として、田中栄治コーディネーターとして、広江正明笠松町長、森真各務原市長、渡辺直由美濃加茂市長、横家美伸美濃白川Eポート実行委員会委員長がパネリストになり、これからの流域ネットワークと木曽川の可能性をテーマとして活発な意見交換をしました。

広江町長は、「サイクリングルートの整備やEポート大会での交流拡大を民間に広げたい」などの考えを提案しました。



木曽川の想いを述べる広江町長



笠松小学校 琴クラブの演奏



あずまやの全景



シンポジウムで意見を交わす皆さん

(左から田中地域交流センター代表理事、阿奈本庄まちの駅ネットワーク代表、広江町長、森各務原市長、渡辺美濃加茂市長、横家白川Eポート委員長)